

登米市総合教育会議 会議録

会議の名称	第 18 回登米市総合教育会議	
開催日時	令和 7 年 12 月 1 日 (月)	
	午前 10 時 00 分 開会	
	午前 11 時 08 分 閉会	
開催場所	登米市役所 3 階 第 4 委員会室	
出席者 氏名	市長	熊谷 康信
	教育長	小野寺 文晃
	教育長職務代理者	高橋 正則
	教育委員	佐竹 美香
	教育委員	須藤 勝子
	教育委員	佐々木 静
	教育委員	佐々木 伸雄
欠席者	なし	
傍聴者	なし	
事務局職員氏名	総務部長	阿部 桂一
	教育部長	新田 公和
	教育部次長兼教育総務課長	阿部 信広
	教育部次長兼学校教育管理監	鹿野 征美
	学校教育課長	猪股 勝徳
	活き生き学校支援室長	高橋 利恵
	教育支援センター所長	箱石 雄悟
	学校再編推進室長	安部 保男
	生涯学習課長	千葉 敬子
	文化財文化振興課長	沼田 芳明
書記	迫・登米図書館長	富士原 幸治
	市長公室副参事兼室長補佐	岸名 紀彦
	教育総務課課長補佐	堀内 貴光
議題	(1) 「第 3 期登米市の教育等の振興に関する施策の大綱」の策定について (2) 教育行政の方向性について	

議題・ 発言	<p>(司会) 阿部次長兼教 育総務課長</p>	<p>定刻となりましたので、只今から、第18回登米市総合教育会議を開会します。開会時間は午前10時といたします。</p> <p>本会議は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4第1項第1号で教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた協議、学術及び文化の振興を図るために重点的に構すべき施策について、総合教育会議で協議や調整をすることとなって います。本日は、市長と教育委員会、両者の教育施策の方向性を共有するための会議であります。</p> <p>はじめに、市長から開会のご挨拶を申し上げます。</p>
	熊谷市長	
		<p>本日は総合教育会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>私が市長に就任以来、教育委員の皆様とは各種式典やイベント等ではお会しているものの、総合教育会議は初めてでございますので、よろしくお願い申し上げます。さて、本日は2件の議題を予定しております。</p>
		<p>1件目として、「第3期登米市の教育等の振興に関する施策の大綱」の策定について、次に2件目として、「教育行政の方向性について」となっております。</p>
		<p>「第3期登米市の教育等の振興に関する施策の大綱」の策定については、現行の教育大綱が今年度で終期を迎えること及び少子高齢化や高度情報化等、教育を取り巻く環境が変化している状況を踏まえ、新たに第3期計画を策定するものです。</p>
		<p>今回の協議案件、「教育大綱」と「教育振興基本計画」について、定例教育委員会議において、2度、内容をご検討いただいたとお聞きしております。本日は、その内容を教育委員の皆様と共に、意見交換させていただき、重要な教育施策の方向性を共有させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
	<p>(司会) 阿部次長兼教 育総務課長</p>	<p>それでは、議事に入ります。議事の進行に当たりまして、熊谷市長に議長をお願いいたします。</p>
	<p>(議長) 熊谷市長</p>	<p>それでは、議題に沿って会議を進めます。</p>
		<p>(1)「第3期登米市の教育等の振興に関する施策の大綱」の策定について、事務局から説明をお願いします。</p>
	<p>阿部次長兼教 育総務課長</p>	<p>(資料1に基づき説明)</p>
	<p>(議長) 熊谷市長</p>	<p>ただいま、事務局から「第3期登米市の教育等の振興に関する施策の大綱」(案)について、内容の説明がありました。委員の皆様には、これまでにも教育委員会議において「第3期登米市の教育等の振興に関する施策の大綱」(案)について議論していただいておりますが、ご意見等ございますか？</p>

議題・ 発言	(議長) 熊谷市長 (議長) 熊谷市長 (議長) 熊谷市長 阿部次長兼教 育総務課長 高橋教育長職 務代理者 阿部次長兼教 育総務課長	<p>(なしの声あり)</p> <p>それでは、「第3期登米市の教育等の振興に関する施策の大綱」の策定についての協議は、これでよろしいですか。</p> <p>(「はい」の声あり)</p> <p>それでは、「第3期登米市の教育等の振興に関する施策の大綱」(案)については、今後、必要に応じて事務局はその内容について、教育委員会議で、教育委員の皆様に確認をいただくようお願いします。</p> <p>それでは、続きまして議題の(2)「教育行政の方向性について」を議題といたします。事務局から資料の説明をお願いします。</p> <p>(資料2に基づき説明)</p> <p>ただいま、事務局から第3期登米市教育振興基本計画(案)について説明がありました。</p> <p>これを含め、委員の皆様から、「教育行政の方向性について」について、ご意見をお伺いいたします。</p> <p>はじめに高橋教育長職務代理者からお願いいたします。</p> <p>資料を説明いただき、変更点等を確認しましたが、おおよそのことは網羅されているのでよろしいかと思いますが、分類の仕方をもう少し整理が必要かなと思います。</p> <p>前回教育委員会で話題になった防災安全教育について、基本方向に入れるか、基本的な取組に入れるかで力の入れ方が変わると思います。</p> <p>今、色々な異常気象や地震、或いは原子力の問題もあります。安全防災教育は、学校教育だけでなく、社会教育の中でも取り組む内容だと思います。目標2で、地域・学校の協働の取組があるので少し格上げしたほうがいいと思うのが私の考えです。</p> <p>もう1点、社会教育分野、公民館の自主的な管理運営において、住民、市民が学びたいことの機会、場所の提供というのは当然のことだと思います。ただ、住民の方々のニーズに答えるだけではなく、これから時代、必要な知識等を見極めて積極的に提供することが必要ではないかと思います。</p> <p>また、専門的な知識を備えた人間の配置には、社会教育主事講習を受けければ社会教育の専門的な知識を学習したことには当たりませんので、社会教育行政に長く携わった方からアドバイザー的な立場で意見をもらうようなことも必要ではないかと思います。感想でございます。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、前回の教育委員会でいたしている内容です。現在、内部で精査させていただいております</p>
-------------------	--	---

議題・ 発言	<p>高橋教育長職務代理者</p> <p>(議長) 熊谷市長</p>	<p>ので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>市長にお聞きしたい内容についてお話いただければと思いますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>現在策定している大綱、基本計画は素晴らしい計画内容だと思います。今求められる課題や学校教育、社会教育の課題、今後の取組が記載されています。これを絵に描いた餅にしてはいけません。</p> <p>成果を上げられるかどうかは、これからの中の取組だと思いますが、その中で必要なのはやはりマンパワーの充実だと思います。</p> <p>例えば学校教育では、特別支援教育で誰ひとり取り残さない取組になりますが、県、国から与えられる人材には限りが当然あります。</p> <p>不足する人材は、市で支援員を配置したり、ボランティアという形で学校に入っていただいていますが、現場では、それでもまだまだ人手が足りない状況です。そういうところに人的な充実を図るための予算の確保、拡充を考えていただきたいと思います。</p> <p>教員補助的な仕事をやっていただく方は、今も十分採用していただいているがそれでも足りない状況です。</p> <p>栗原市では、市費で教員を採用していますので、そういった取組も視野に入れる必要があるのではないかと思います。是非、人的な充実のための裏付け、予算の確保というのを考えて欲しいと思います。</p> <p>また、市長の考えにもあると思いますが、教員が登米市に住みたい、住んでみたいと思うような市のまちづくりがあると思います。</p> <p>教員も登米市の学校で働きたいと思うような、そういった環境整備が必要なんだと思います。今登米市出身の教員は少なくて、仙台近郊あたりから入ってくる先生たちに頼らざるを得ない部分があります。</p> <p>初任は、ほとんど仙台圏が多く3年経つとお世話なりましたと帰ってしまう状況です。登米はいい所だなあと思ってもらえる学校の環境、子供たちと一緒に頑張りたいと思うような教育現場ができたらいいなと思います。</p> <p>それには人的な充実と併せてハード的な環境整備も当然必要になりますので、予算も限られていますので難しい部分ではあると思いますが、是非、予算の確保というところをお願いしたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>登米市で働きたいと望むような教員をというお話をいただきました。まさしくこれは教育現場だけではなく、様々なところに通じるものだと思います。登米市でなくてはいけない、そのような環境づくりが必要であると私も思います。仙台からお越し下さいて、登米市で3年勤めましたのでありがとうございましたと戻られるのでは、やはり寂しいところがあります。そういった環境づくりに関しましては、いろいろなご助言をいただきながら充実させていきたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>教育現場において、マンパワーが足りない、充実を図るべきというご意見をいただきました。</p>
-----------	--	--

議題・ 発言	<p>学校教育の充実のためには、教育の本質ともいえる人材、教職員数の充実や指導力の向上、教職員体制をしっかりと構築していくことが大切であると私も認識しております。</p> <p>市費負担教員の導入につきましては、予算の確保も必要ですが、何よりも、教育者としてふさわしい人材の確保が大切と考えております。</p> <p>全国的に教員や講師不足が問題となっております現在ですが、県や仙台市で多くの職員採用が行われている中、優秀な人材を確保できるかが大きな課題であると認識しております。</p> <p>同様に学校支援員につきましても、今年度、市内小中学校から 70 名の要望がありましたが、応募者が少なくなり手がいなことに加え、面接試験により教育現場では適さない方の採用を控えているため、実際の任用は 46 名となっております。</p> <p>課題を抱える児童生徒の保護者、家庭への人的支援につきましても、子育て支援課を含めしっかりとサポートできるよう努めるとともに、学習支援員につきましては、人材確保に努めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは次に、佐竹委員からお願ひします。</p> <p>（議長） 熊谷市長</p> <p>佐竹委員</p> <p>私は、図書館整備についてご質問をさせていただきます。</p> <p>図書館整備の話が出た段階で、登米市にも素敵な図書館ができるらしいなと考えておりました。</p> <p>子育てをしている中で、子ども連れでいけるような図書館があつたらしいなと考えながら過ごしてきました。</p> <p>今回、図書館整備の話が出たときに、市民のアンケートで新しい図書館を希望する 30 代から 40 代の子育て世代の方の意見が多かったということは、やはり図書館が大事な施設だと思っています。</p> <p>高橋先生からもニーズに答えるだけではなく、必要だと思うことを提供するという考えは私も同意見です。まさに、図書館がそういう施設なんではないかと思っています。</p> <p>図書館は、福祉施設や文化施設とは違い、教育基本法で決められている社会教育の施設ですので必ずなくてはならないものだと思います。</p> <p>登米市には、3 つの図書館がありますが、その機能を果たしてなのかということを総合的に考えたときに、やはりその必要性があると思っています。</p> <p>現段階での市長の思う図書館というのを教えていただきたいと思います。</p> <p>（議長） 熊谷市長</p> <p>今お話をいただいたとおり、図書館はなくてはならない施設だと認識しております。子育て世代の皆さんから色々な考え方、お話を聞いております。</p> <p>今実際には、既存の図書館に関しましても、どのような方方がいいのか、既存の図書館を求めている市民も実際にはまだいらっしゃいます。これからしっかりと説明させていただく中で、図書館の</p>
-------------------	--

議題・ 発言	<p>あり方を検討していかなければと考えております。</p> <p>新図書館整備等につきましては、子育て支援団体をはじめ、各種団体から要望書の提出を受けており、私自身も、公立図書館は市民皆様の学習に必要な図書等を提供し、誰もが無料で利用できる施設として、生涯学習を推進する上で重要な施設であると認識しております。</p> <p>登米市図書館構想における新図書館の基本理念においては、市民一人一人が、心豊かで充実した暮らしを送ることができ、地域を支え、市民の学習活動を促進し、自ら学ぶ市民への支援を行う学びの拠点を目指し、また、各世代の人々が本や人と出会い繋がり、そして地域のにぎわいを創出する交流の拠点を目指すこととしております。</p> <p>子供の成長にとって、図書、読書は、新しい知識や情報を得られるだけでなく、未知の世界や物事に対する想像力を掻き立て、新鮮な感動を呼び起します。</p> <p>また、読書は言葉を通して思考力や表現力を養い、豊かな感性やコミュニケーション能力の基礎を養ってくれます。</p> <p>その意味でも、読書は心豊かに、より良く生きていくための力を育てくれる大切な手段の1つだと言えます。</p> <p>今後の施設整備につきましては、将来の機能、場所、規模を、人口動態とあわせて、既存の図書館とは別に、地域の公民館施設や学校再編に伴う空き校舎の活用も見据えながら、新たな図書館整備について、取り組むこととしているところでございます。</p> <p>現在、図書館機能を含む仮称地域交流センター整備事業の基本設計を実施しておりますので、その上で総合的に判断することとしておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
佐竹委員	<p>是非、前向きに図書館の建設整備を取り組んでいただきたいと思います。教育水準が高い県では図書館の整備が進められているところが多いです。</p> <p>前までは秋田県が進んでいると言われてましたが、最近、長野県がすごく教育が進んでいる県だと言われています。長野県の図書館も規模がすごく、人口1万人切るような郡部にも、きちんとした図書館が整備されていて、そこに市民の皆さんを通っています。</p> <p>その目的も、もちろん教育が目的で子供たちの勉強スペースのほか、親子のスペース、さらには市民が集える場所として利用されてたり、少しずつ図書館のあり方が変わってきてているところもありますので、そういうところも見据えながら、図書館の建設整備を進めていただきたいと思います。</p>
(議長) 熊谷市長	<p>市民が集える環境に関しては、先ほども触れましたが、学校の空き校舎の利活用も含め、どのようなものを構築していくができるのか。財政的な国からの支援についてもしっかりと検討させていただきながら、図書館プラスアルファの形のものも考えていきたいなと思っております。またご指導いただきますようよろしくお願ひいたします。</p>

議題・ 発言	(議長) 熊谷市長	それでは次に、須藤委員からお願いします。
	須藤委員	<p>私は、社会教育施設についてお伺いしますが、その前に、今お話をあった図書館整備について一言申し上げたいと思います。</p> <p>私自身は、登米と迫図書館、中田図書室を使わせていただいております。特に迫図書館で利用者が一番多いのは子供ではなく、退職された年配の男性です。</p> <p>図書館は、知識、教養を高めるとか、子供の目標というのもあります、市民の中では、退職された方々の憩いの場であり、新聞を読んだり雑誌を読んだり、本を読んだり、職業をリタイアされた方々の憩いの場にもなっているということを忘れないでいただきたいと思います。</p> <p>もう1つの意見として、中学生、高校生が来ない図書館は、地域の将来はないと思っています。中学生、高校生は受験勉強をする場、それから資料収集や研究をしていく場所です。</p> <p>市長は、空き校舎の空き教室の利活用のお考えがあるようですが、例えば、旧善王寺小学校は現在、文化財の保管場所になっていますが、空き教室を図書館とした場合、果たして旧善王寺小学校まで中学生、高校生が勉強しに行くかという問題があると思います。</p> <p>交通手段が限られている子供が通える場所ということを前提に、これから市の力強い未来を作る中学生、高校生が気軽にに行って学べる場所ということを前提にお考えいただければと思います。</p> <p>それでは、社会教育施設についてお話ししたいと思います。</p> <p>教育は、学校教育と社会教育の両輪であることは、皆さんご存じだと思います。登米市の学校再編は、5年以上前に教育委員会に学校再編推進室ができ、児童生徒、幼稚園も含め、今後、小学生、中学生なる子供たちの意見、それからその親、地域の方々を対象にアンケートを行いどんな学校に行きたいか、何処と一緒になればいいか、場所はどこがいいなど検討を重ねてきました。</p> <p>住民と子供たち、その保護者の合意のもとに、学校統合が順調に進んでいると思っています。</p> <p>これは教育委員会、行政において、適正な規模で子供たちに学びの保障したいという思いで、長い年月をかけて、住民と実際に学ぶ人たちの合意のもとに、きちんとした組織で計画を立てて進めた結果、みんなが満足できるような形で学校再編は進んでいると思っています。</p> <p>教育委員会で予算の話がよくですが、公民館のエアコンが壊れた、階段が劣化した、屋根の雨漏りなど、施設の修繕が多く発生していて、その都度、直しながら大変だと感じています。施設を使用している住民の方に支障が出ないようによく対応されてると思います。</p> <p>登米市は9町が合併した結果、それぞれの町が持つてる全ての施設を集約したので、人口比に対して膨大な数の社会教育施設があり、その維持管理経費が財政を圧迫しているのが現実ではないかと思います。</p> <p>今まで社会教育の整理統合が課題であると提案されてきました</p>

議題・ 発言	<p>たが、何年後かに検討するという回答だけでした。特に社会教育施設は利用者が大人の方々ですので、数が多いから辞めますというわけにはいかず、施設の経年劣化の問題などを総合的に含めて、そこに住む方々の合意のもと、修理等していかなければならないと思います。修理、改修、統合という方向だけで具体的な方針がなかなか出ないことが多いです。</p> <p>今後のどのような方向性で、教育委員会にその部署を位置付けて、組織的に進める部署を作る意向などがあるのか市長のお考えをお聞きします。</p> <p>(議長) 熊谷市長</p> <p>初めに、図書館の現状、利用されてる方のお話をいただきました。私自身、図書館には、頻繁に足を運んでいるわけではありませんが、子供たちの未来に向けた整備という部分に関しましては、本当に必要だと思っています。</p> <p>整備を進めるためには、建物を新しくして集約した形がいいものか、公共交通機関の課題もある中で、今は（仮称）地域交流センターの整備事業に絡めた図書館を基本としながら、その整備計画がどのような形でこれから展開していくのかというものをしっかりと捉えた中で、総合的に判断させていただきたいと考えておりますので、今しばらくお待ちいただければなと思います。</p> <p>いろいろ課題がありと言いながら具体的な方向性が出てこないことは、全くその通りだと思っておりますので、しっかりと対処して参りたいと考えております。</p> <p>後段でお話いただきました社会教育施設について、お答えさせていただきます。</p> <p>本市は社会教育施設である公民館を、地域の学びと地域づくりの拠点として、指定管理制度により公民館を運営しております。</p> <p>市内 21 施設の各地域コミュニティの団体が運営しておりますので公民館や体育施設の社会教育施設の多くは、旧町時代に設置され、老朽化が進んでおり、建物や電気設備の修繕、改修が必要で十分に現在対応しきれていない状況です。</p> <p>人口減少が進行する中、これまでと同じ施設数を永続的に維持していくことは大変難しくなってきています。</p> <p>社会教育施設の再編の必要性があることは認識しております。</p> <p>一方で、公民館は長年地域の拠り所となっている地域の拠点施設であります。施設の再編にとどまらず、地域コミュニティのあり方にも関わるものであります。</p> <p>公民館の再編を進めるにあたっては、まずは地域の皆さんに公民館再編の必要性をご理解いただいた上で、地域コミュニティをどのように維持していくのかを意見交換することが第 1 であると考えております。</p> <p>実際、各町域で 1 つのコミュニティとして成り立っているところ、又は、町域の中に数ヶ所のコミュニティ組織があるところと様々な形で運営されておりますので、その統一を図るべきだかどうなのかという部分に関しましても、しっかりとご意見をいただき、行政側からの考えについてもお示しした中で、意見を集約していくと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。</p>
-----------	--

議題・ 発言	<p>(議長) 熊谷市長</p> <p>佐々木 静委員</p> <p>(議長) 熊谷市長</p>	<p>地域から人がいなくなる中で、公共施設の老朽化が進み、地域の学びと地域づくりの拠点を維持するために、社会教育とまちづくりの視点から議論をしっかりと進めていく必要があると考えておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは次に、須藤委員からお願ひします。</p> <p>私は、不登校児童生徒の対応について、お聞かせいただきたいな思います。</p> <p>これまで行きたくなる学校づくりを目指し、それぞれの学校関係者や教員の皆さんから力を注いでいただいておりますが、登米市の不登校児童生徒は増加傾向にあります。</p> <p>不登校児童生徒が抱える問題は、すぐに対応を講じれば解消できる問題ではありませんが、やはり幼児教育から学校教育への移行、家庭問題、友達同士の問題、学力の問題などいろいろな問題を抱えていると思います。</p> <p>教育の面で誰ひとり取りこぼすことのないように取り組みたいという市長のお考えのもと、学びの多様化学校の検討についてお聞きします。</p> <p>宮城県では、学びの多様化学校があるのは白石市に小学校と中学校各1校、仙台市に1校、富谷市の文教型の中学校があり、現実には予算の問題もありなかなか進んでいない状況のようです。</p> <p>先程、高橋委員からお話のありました教員の確保などの問題もあると思いますが、不登校児童生徒の解消に向けて、市長はどのように考えていらっしゃるのかお伺いします。</p> <p>委員からお話があったとおり、1つのことを講じたからといって不登校児童生徒が解消されるものではないと認識しております。</p> <p>現在、本市におきましては、不登校児童生徒の増加が続いており、全国や県の平均よりも多い状況となりつつあります。</p> <p>登校に不安を抱える児童生徒への社会的自立、学習機会の保障、居場所の確保を目的とし、市では、けやき教室と登米市子どもの心のケアハウスを一体化したさくらの木で支援を行っておりますが、十分に支援が行き届いていない児童生徒がいると感じております。</p> <p>学びの多様化学校の設置は、児童生徒の居場所として選択肢が増えるという観点から、不登校支援の1つとなるものと考えております。</p> <p>今後の不登校対策について、児童生徒の実態を十分に踏まえながら、どのような支援が必要か学びの多様化学校の設置を含めた、調査検討を進めるよう、教育部に指示しているところであります。</p> <p>前段で申し上げましたとおり、全ての子供たちに対応できるかという部分については、難しいところがあると思っております。</p> <p>ただし、1人でも救いたいという気持ちであることをご理解いただき、皆様のご意見をいただきながら最善を尽くして参りたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。</p>
-----------	--	---

議題・ 発言	佐々木伸雄委 員	<p>市の計画等の策定に関しては、登米市子ども子育て基本条例の策定委員として約2年間、会議に参加させていただきました。</p> <p>条例策定の際に提言しましたが、それを何に生かすのか、実際どれぐらい生かされてるのかというところが重要であり、教育委員会においては、教育環境を語るうえで、地域の実情や家庭環境、学校での関わりを市の各部署と定期的に情報共有しておくことが必要ではないかと考えます。</p> <p>例えば、教育における問題について、他の部署と情報を共有しておけば、教育委員会内部で解決できないことが、他部署で関わりがあるケースで解決の糸口となる場合も出てくるのではないかと思います。</p> <p>市民生活課や建設課、一般企業とも繋がる産業課などで関わりがあって対処できることもあり、そういったことも考えると、全て教育委員会内でと考えず、市として、組織として取り組む形が理想だと思いますし、年に1回でも定期的に情報を共有する機会があってもいいのではなかと思います。一般企業では普通にやってることだと思いますので、公的に各部署との情報共有の場というのを作つてやっていけば、子供たちの教育、成長に繋がるためのいろんな政策に繋がり、それが市政に反映できるのではないかと思います。市長への提案ですがどうでしょうか。</p> <p>それから、社会教育に関することで地域コミュニティの中心である町内会も高齢化が進んでおり若い人頼みになっています。新しく町内会に入った方に、町内会について何か、説明を受けましたかと聞くと、強制ではないですと説明されたという話でした。地域防災、自主防災組織などを運営してるのは町内会ですが、新しく町内会に入った人は、入らなくてもいいんだと思ってしまいます。</p> <p>一番いい例がゴミ出しについてですが、こういうルールがあるから入った方がいいですよと説明してくれる職員もいるようですが、ただそれも窓口で対応した職員によっては、個人的なアドバイスになってしまうことがあるようです。ゴミ出しに関しては、町内会が管理してるから町内会に入ってない人は捨てられないというわけではなく、公的根拠もありません。一般的な習慣、慣習として長年それが常識になっていますが、今は強制ではないんと言われるそ後の説得はできません。一番困るのが、職員の個人的意見で返答されると相談に行った人には、それが答えになってしまって、対応する職員も強制ではないんですという答えになってしまいます。</p> <p>いわゆる自助・共助・公助の共助の方になりますが、これから地域で助け合っていくなかで、役割がどんどん増えてきてるのに、その地域で行う範囲はどこまでなのか明文化されたものがない。また、これからは、いわゆるゆとり教育で育った若者が保護者になってきます。自分たちの学校時代に経験してたことが、今と昔は違うんだといろいろな面で考えるようになっています。</p> <p>地域コミュニティと学校を巻き込んだ形での子育てというものを市長にお願いしたい。親の世代の教育まで含めてできれば、地域コミュニティも活発になるのではないかと思い、私自身の考えですが挙げさせていただきました。</p>
-----------	-------------	--

議題・ 発言	(議長) 熊谷市長	<p>様々な観点からご意見をいただきました。</p> <p>これまでの委員会でも、指標や数字的根拠を示した中で説明を行い、それがどこまで生かされてるのかという部分に関してはこれからもしっかりと検討しながらやっていきたいと思っております。よりよい方向に進めるように、皆さんからお知恵をいただきながら進めたいと考えております。</p> <p>教育環境を語る上で職員が、他部署との定期的な情報共有の場を設ける必要があるのではないかという点につきましては、子育てや教育行政などの充実を図る上では、地域、家庭、学校の他、多方面からの協力や支援が必要あります。行政としても、部局を横断し、連携を図りながら進めていくべきであると認識しております。私からも、部局を超えた横の連携を図りながら、広い視野を持って業務を進めるよう指示しているところでありますが、さらに連携を深めながら、業務に取り組むよう周知徹底を図って参りたいと考えております。</p> <p>また、市民に対応する職員の個人的な意見によって判断されるときが多々あるという点につきましても、職員は、条例規則等に基づき、業務を適切に遂行しているものと認識しておりますが、この点につきましても、市民目線に立った適切な対応に努めるよう指示して参りたいと考えております。</p> <p>ゆとり教育で育った今の保護者世代というところに触れられておりますが、その方々が地域の活動に対して、なかなか理解いただけない部分もあるというところは、自助・共助・公助の考え方のもとにできるだけ協力していただきながら推進するよう努めて参りたいと考えております。私も肌感覚としましては、そういったところがあるのかなと感じているところがありますので、ご理解いただけるよう努めて参りたいと思います。今後ともご協力いただきますようよろしくお願ひいたします。</p> <p>委員各位から様々なご意見、ご質問をいただきました。私自身も皆さんの意見をしっかりと参考にさせていただきながら進めたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>学校教育、社会教育は範囲が広く、一概になかなかお示しできないのが少し辛いところではあります。</p> <p>皆様から様々なご意見をいただきながら作り上げていくことだと思っておりますし、私個人の意見として作るものではないと考えておりますので、私の考えもありますが、しっかりと協議したうえで進めさせていただきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、教育行政の方向性についての協議はこれでよろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」の声あり)</p> <p>教育行政の方向性につきましてはこれで終了とし、必要に応じて事務局はその内容について、教育委員会議で、教育委員の皆様にご</p>

議題・ 発言	<p>(議長) 熊谷市長</p> <p>(司会) 阿部次長兼教 育総務課長</p> <p>(司会) 阿部次長兼教 育総務課長</p>	<p>確認をいただくようお願いします。</p> <p>議題につきましてはこれで終了とし、進行を司会にお戻しします。</p> <p>委員の皆様には活発なご意見をいただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>その他といたしまして事務局からはございませんが、委員の皆さんからございますか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p> <p>それでは以上をもちまして、第 18 回登米市総合教育会議を終了とさせていただきます。</p> <p>閉会時間は午前 11 時 8 分とさせていただきます。</p> <p>大変お疲れ様でございました。</p>
-----------	--	--